
2011 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに.....	2
事業概要	3
活動紹介	4

はじめに

皆さまのご支援のお陰をもちまして、2011 年度を無事終えることができ、ここに事業報告を送付させていただきます。

昨年度は、2004 年から参加しております高校生対象の国際競技「Global Enterprise Challenge 2011」の世界大会にて、日本の代表チームが引き続き Creativity 賞を受賞いたしました。これを受けて、今年の世界大会のアジアハブのホスト国として 6 月の開催に向けて準備をしているところです。また、毎年 11 月に開催しております小学生から大学生が参加する仮想企業の実践見本市である「バーチャル・カンパニー トレードフェア」も 11 回目を迎え、多くの方の支援を受けて盛況に終了することができました。

一方で、福祉分野でのアントレプレナーシップ推進事業も進み、小・中学生の「次世代の担い手育成事業」では、学校・施設・社会福祉協議会などの事業関係者の理解促進の合同研修会を開いたり、教材を開発したりして、モデル授業から普及に向けての基礎固めを行うことができました。また、障害者の就労支援施設のイノベーション推進プロジェクトでは、参画団体と一緒に就労訓練の環境整備や新規事業の立ち上げなどを行い一定の成果を出すことができました。最終的には、その活動が高く評価され、府の施策に取り入れられたことは、大変喜ばしいことでした。

教育分野での事業課題としては、指導要領の改訂などにより時間的な制約から学校教育において地域連携の授業実践が一層難しくなっていることがあげられます。キャリア教育の必要性が叫ばれるなか、中学校での職業体験は一定の普及を果たしたものの、積極的に社会的課題解決に挑戦したり、自ら仕事を創り出していったりというアントレプレナーシップの視点を持った教育は後退していています。地域との連携活動に力を入れ始めた大学と対照的な状況が、初等・中等教育で起きているのが現状です。事業開始当初と比較して、アントレプレナーシップへの理解者が増えてきているなかで、時間や人的資源の制約から、教育効果がでる長期的な活動を公的な学校教育で実践できない状況が強くなってきているのは本当に残念なことです。しかし、時代や社会的なニーズを考えたときに、学校の変化を待ってはいけません。

今年は当センターが事業を初めてから 15 年目、特定非営利活動法人になって 10 年目の節目の年となります。次の 10 年で成果が出せる活動を行うために、皆様と一緒に、事業の見直しと新たな挑戦を模索していきたいと存じます。アントレプレナーシップ溢れる社会の実現のために、引き続きご支援・ご指導賜れますようお願いいたします。

平成24年5月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

事業概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の 範囲および人数
1. アントレプレナーシップ教育普及推進事業等				
<啓発&普及活動>				
グローバル・エンタプライズ・チャレンジ	青少年の科学技術の関心を高めるために課題解決に挑戦する高校生対象の国際イベントに参加する代表チームを選別する 国内予選と世界大会の実施	国内大会 2012/3/23-24	龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」	110 名
		アジア大会 2011/5/28-29 世界大会 2011/6/18-19	アジア大会:インターネット開催/世界大会:シンガポールサイエンスセンター	約 100 名
バーチャル・カンパニー・リードフェア 2011	地域と連携した事業活動を行う小学生～大学生の実践発表と販売見本市	2011/11/27	京都大学百周年時計台記念館	約 500 名
<学校の学習活動支援>				
教員研修、学校への実践普及など	教員研修や授業支援や指導のコンサルティング	随時	センター又は各学校現場	約 2,000 名
<広報活動>				
メールマガジンの発行	センター活動の報告・案内	毎月	メール	毎回 約 5000 人
HP による情報公開	HP などに活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数
2. 教材・教育プログラムの開発等(他団体との協働・委託事業)				
<講座開催・講座講師など>				
起業家講座企画・コーディネート	【神戸商工会議所委託事業】 「会社をつくろう!」の講師受託業務	2011/6-7 月 の計 5 回	神戸市産業振興センター	約 50 名
	【佛教大学四条センター委託事業】 社会起業についての基礎講座「あなたの町を元気にする!～身近な問題一緒に考えてみませんか?～」の提供	2012/1-3 月 の計 3 回	佛教大学四条センター	約 50 名
<事業運営>				
福祉仕事理解促進事業	【きょうと介護・福祉ジョブネット事業】 「次世代の担い手育成事業」の教材開発 & 研修事業	2011/4-2012/3 月末	各実施学校にて	約 300 名
障害福祉分野の就労支援事業	【京教府中間支援団体活動支援事業】 障害福祉分野におけるイノベーション推進プロジェクト:事業所の就労訓練環境整備や生産活動内容の見直しなど	2011/9-2012/3 末	京都府内の 8 事業所にて	約 100 名
府立高校生の体験活動支援事業	【京都府教育委員会】 高校生の体験活動のための受け入れ企業開拓と派遣のためのコーディネート	2011/7～8 月	受入企業にて	約 30 名 (派遣生徒 14 名)
3. その他				
講演など	大学などにて	随時	大学の講義室	約 1000 名
公的機関の委員など	委員会への出席	随時	各主催者の会場	不特定多数

1.アントレプレナーシップ教育普及推進事業等

●Global Enterprise Challenge (グローバル・エンタプライズ・チャレンジ)

グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (GEC) は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、16歳から19歳までの青少年を対象に、2001年に始まった国際イベントです。NASA(米航空宇宙局)やWIPO(世界知的所有権機関)も支援しており、2011年は16カ国が参加しました。

日本で実施する国内予選と、各国の代表チームが競い合う世界大会とで構成されており、2011年はこれにアジア大会が加わりました。参加者は、科学技術などの知識を活用して解決策を事業プランとしてまとめて発表。提案内容は、審査員により、創造性・革新性・実現性・市場性・コミュニケーション能力などの点を総合的に評価され、優秀チームが決定されます。2011年の国内予選には、11チームが参加。最終的に入賞した同志社国際高等学校の6名と京都市立伏見高等学校の3名の9名で日本チームを結成し、シンガポールで世界大会に参加し、Creativity 賞を受賞しました。また、2012年に開催された国内予選には、15チームが参加し、洛南高等学校のチームが6月に開催される世界大会に向けて準備しています。

助 成：財団法人京都市国際交流協会

協 賛：株式会社島津製作所、住友スリーエム株式会社、株式会社大貴、日東薬品工業株式会社

後 援：経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会(社団法人京都工業会、社団法人京都経済同友会、社団法人発明協会京都支部)、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

<活動内容>

【国内予選】 3/28(月) 10:00AM-3/30(水)12:00AM

<課題(challenge)>

Your challenge for the GEC 2011 Japan National Competition is “to produce a working model of an innovative product or service that will reduce damage and loss of people’s lives when a country is hit by a natural disaster and is short of basic necessities, such as electricity, fuel, water, food and transportation, etc. (自然災害に見舞われたときに限られた資源で、できるだけ被害を少なくし人命を救う革新的方法を提案せよ)

■入賞チーム

◎最優秀賞

・『Us Communications-Disaster Airborne Radio-wave Transmitter』(同志社国際高等学校 C チーム)

・『Warter SPArk』(京都市立伏見工業高等学校 A チーム)

○優秀賞

・『Lightspeed Save Ring』(京都市立伏見工業高等学校 B チーム)

【アジア大会】 5/28(土) 10:00AM-5/29(日) 10:00AM

主 催：Science Center Singapore, Young Entrepreneur

参加国：6カ国 (シンガポール、中国、韓国、インドネシア、フィリピン、日本)

<課題(challenge)>

”Your Challenge today is to develop a commercially viable product or services to help alleviate mobility issues faced by the disabled and/or elderly people in your country” (障害者や高齢者の移動の課題を解決する商業商品を提案せよ)

■入賞チーム

- ◎最優秀賞 :日本 (同志社国際高校) チーム
- 優秀賞:シンガポール チーム、フィリピンチーム

【世界大会】6/18 10:00AM-6/19(日) 10:00AM

場 所:シンガポールサイエンスセンター

ホスト: Young Entrepreneur / ABW Enterprise Education

参加国:16 カ国が参加(オーストラリア、カナダ、中国、コンゴ共和国、ドイツ、インドネシア、日本、ニュージーランド、フィリピン、ポーランド、スコットランド、シンガポール、南アメリカ、韓国、ウェールズ、アメリカ)

<課題(challenge)>

“Your Challenge today is to conceptualize and design an interactive exhibit, for display in science museums around the world, celebrating fifty years of human spaceflight, and looking ahead to the next fifty. Estimate what it will cost to develop your exhibit and produce a business plan to recover the cost of creating and maintaining the exhibit.” (宇宙飛行の50年を記念し、科学博物館での展示物を提案せよ)

■入賞チーム

- ◎最優秀賞:オーストラリア (2位:ニュージーランド 3位:アメリカ)
- Creativity 賞:日本 ○IPN 賞:シンガポール



参加者交流のためのワークショップ



課題のアナウンスに聞き入る参加者



チームで議論する日本チーム



参加証授与のあと、記念撮影して観光へ!

●第11回 バーチャル・カンパニートレードフェア

第11回目を迎えた『バーチャル・カンパニー トレードフェア』ですが、当日は、全国各地から32チーム(小学生1チーム、中学生2チーム、高校生1チーム、大学生28チーム)が参加し、日頃の学習成果を展示販売やプレゼンテーションを通じて互いに競い合いました。参加校の多くが、例年このイベントに参加することを目標にして学習活動を行っており、年々地元を巻き込んだ活動が発展していることが見受けられました。学校が外部の団体などと連携した教育実践の効果は大きく、地域ぐるみで次世代の担い手を育てようという機運が、この活動をきっかけに生まれている地域も出てきています。

なお、当日は、近隣の方々を含め多くの方々に参加いただき、また、マスメディアで取り上げていただいたおかげで、アントレプレナーシップ教育についてより広く知っていただく機会となりました。運営においても、昨年度参加した学生や協力団体の担当者がボランティアスタッフとして参画する体制が根付いてきております。

本イベントに参加した小学生～大学生へのアンケートからは、参加者の93%が「大変よかった」または「よかった」と回答しており、展示やプレゼンテーションについての自己評価も高く、概ね満足 of いく事業であったと考えております。同時に高校生以上に対して質問した「自ら事業を創り出すことについて」への回答からは、「自ら仕事を創り出せるアントレプレナーシップ溢れる次世代の担い手育成」という、この教育実践が意図することを学んでくれていることが伺えます。また、一般来場者へのアンケートからはこのような教育効果へ賛同する声が多く、今後さらに多くの学校の取り組みを期待したいところです。

<協賛>

- 特別協賛：公益財団法人本田財団
- 協 賛：株式会社アシストバルール、株式会社エフタイム、京都信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社ジェイ・エス・エル、株式会社大貴
- 広告協賛：株式会社井筒八ツ橋本舗、有限会社さかの館、株式会社福寿園、富士ゼロックス株式会社、株式会社堀場製作所、有限会社森三（スタジオダリ）
- 商品協賛：アジアマシナリーソリューションズ株式会社、株式会社アシストバルール、株式会社井筒八ツ橋本舗、株式会社如月社（京都シネマ）、オムロンヘルスケア株式会社、青少年と科学の会、株式会社福寿園

<プログラム>

10:00 開会式

主催者挨拶：市原 達朗（トレードフェア実行委員会 委員長）



開会宣言：神谷 昌宏（N.R.C 社長 / 尾道市立原田中学校 3 年生）*昨年度の知事賞受賞校



10:15 バーチャル・カンパニーのブース展示&プレゼンテーション

全国から集まった小学生～大学生のチームが、自分たちの運営するバーチャル・カンパニーの商品をブースにて販売。同時に事業内容の紹介を壇上で発表します。この間、参加チームの実践は、事業内容・社会貢献度・地域との連携・展示販売や発表方法など、総合的な視点で評価されます。



14:30 学生の交流セッション

小学生から大学生が皆でチームを組んで、一緒に課題解決に挑戦。今年のお題は：『太陽電池、スマートフォン、自転車、観光、ニンニク、鏡、ゴム、掃除機、旅館、犬』中から2つ以上選んで組み合わせたユニークで新しい事業アイデアを提案しなさい。ただし、将来実現可能性があり、利用者がいるものとします。』でした。一番たくさんアイデアを思いついたチームにアントレプレナーシップ開発センターより賞品が授与されました。



15:40 講演 「バーチャル・カンパニー 進化ストーリー」

久保田 槇子（繭美蚕 IT担当/共愛学園前橋国際大学 4年生）

2005年に共愛学園前橋国際大学のバーチャル・カンパニーとして設立された繭美蚕（まゆみさん）は代々下級生が引き継ぎ事業を発展させています。2009年には商標登録し、地元企業と連携した学内企業として運営されており、今回はその学生社員から、この教育実践の効果などについてお話してもらいました。



16:00 審査結果の発表と表彰式

展示ブースの飾り付け・配布資料、客への対応、提案商品の新規性や事業の生み出す社会的貢献度、外部との連携、発表方法などを審査員が総合的に評価し、優れた実践に対して賞を授与しました。

- ◎京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチーム）
しずく茶屋、共愛学園前橋国際大学
- ◎京都工業会賞（科学技術の分野（製品：ものづくり）において新しい発想があったチーム）
アジカル、目白大学
- ◎京都経済同友会（地域コミュニティに貢献度の高いチーム）
一身田カンパニー、津市立一身田中学校
- ◎京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデル（サービス）に新規性や独自性の高かったチーム）
（株）ヒシ Amazon、近畿大学
- ◎スチューデント賞（生徒が選ぶ最も優れたチーム）
（株）ヒシ Amazon、近畿大学
- ◎ベストショップ賞（一般来場者が選ぶ最も優れたチーム）
一身田カンパニー、津市立一身田中学校
- ◎本田賞
自然派食品 KKF、京都府立桂高等学校
- ◎特別賞
耀キッ津、津市立藤水小学校
N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)、尾道市立原田中学校
Apple Moon、共愛学園前橋国際大学
- ◎参加賞 参加者全員



17:00 懇親会（主催：公益財団法人本田財団） 場所：京大カフェレストランカンフォーラ）

朝早くから準備を行い、緊張したなかで迎えたプレゼンや展示を終えて、参加者も一息。互いの努力をねぎらい、楽しく交流を行いました。

ご挨拶： 原田 洋一（公益財団法人本田財団 常務理事）

乾杯： 里見 由季奈（しずく茶屋 社長 / 共愛学園前橋国際大学）



参加者・指導者・審査員など関係者みんなで交流

●京都府知事賞 受賞チーム:しずく茶屋(共愛前橋国際大学)



『しずく茶屋HP』

「しずくかん」と「しずくまん」

評価ポイント:群馬で開発された糖度の高い甘しずくというトマトの新品種の認知度向上と、トマトを使った商品開発に、地元の企業と協力して取り組んでおり、一定の成果を出している。

●京都工業会賞 受賞チーム:アジカル(目白大学)



『アジカルHP』

「くるみ先生の太鼓教室DVDとエコ太鼓セット」

評価ポイント:牛乳パックで作ったエコロジーな太鼓セットと太鼓を練習する児童ソフトとの組み合わせが、学校教育などでの活用の可能性などもあり、評価された。

●京都経済同友会賞 受賞チーム:一身田カンパニー (津市立一身田中学校)



『一身田カンパニー HP』



「一中丸醤油とティッシュカバー」

評価ポイント:「地元を元気にしたい!」という思いで、地元企業と醤油やまんじゅうを共同開発したり、津市の伝統工芸品である伊勢木綿を使った布製品や海の砂をいかしたガラスのマドラーなどを手作りして販売するなど、地域との連携や伝統芸能の継承に積極的に取り組んでいる点や、発表・展示での商品説明などが高く評価された。

●京都中小企業家同友会賞 受賞チーム: (株) ヒシ Amazon (近畿大学)



『ヒシ Amazon のHP』



「ヒシの実を使ったお茶と羊羹」

評価ポイント:日本全国のため池や沼に群生している一年草の水草「ヒシ」。生活排水などによる富栄養化で異常繁殖し、枯れた時に大量の腐敗物が生じて沈殿することから水質悪化や異臭の要因となっている。そのヒシの実には、がん予防・健胃効果・整腸効果・滋養強壮・消化促進・二日酔いに効果があるとされており、それを生かしたお茶などを提案。ビジネスアイデアの社会性と今後の可能性に期待しての評価となった。

●本田賞 受賞チーム:自然派食品 KKF (京都府立桂高等学校)



『自然派食品 KKF のHP』



「ハバネロのフィナンシェ」

評価ポイント:安心・安全をテーマに、京都産にこだわった蓮の実とハバネロを使用した商品を地域の企業と連携して開発。ほぼ毎日活動して商品開発に取り組んでいるチームの商品にかける思いや発表・展示販売での積極的な姿勢が評価されました。

●特別賞：耀キッ津 (津市立藤水小学校)



『耀キッ津のHP』



「間伐材のマグネットと伊勢木綿の巾着」

評価ポイント:参加チーム唯一の小学校チームでしたが、発表も展示での販売活動も大学生顔負けにがんばっていました。地元の特産品を使った商品づくりをあわせてその取り組みが評価されました。

●特別賞：N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション) (尾道市立原田中学校)



『N.R.C のHP』



「エコセット:植木鉢・腐葉土・球根など」

評価ポイント: 地域を巻き込んだ取り組みが継続されていること、発表や展示での真面目な取り組みが評価されました。

●特別賞：Apple Moon (共愛学園前橋国際大学)



『Apple Moon のHP』



「「ぐんま名月」を利用したジェラードとゼリー」

評価ポイント: 群馬の特産品であるリンゴ「ぐんま名月」という品種に注目し、糖度 15 度という甘さを生かした商品開発を行い、地域の活性化に取り組もうとしている積極的な姿勢が評価されました。

●松本市教育委員会教員研修

松本市では青少年課勤労青少年ホームが主体となってキャリア教育を推進し、当センターの Web 教材「キッズアントレ」を活用。夏休みに指導者研修を実施し、本年度は小学校 4 校、中学校 2 校のモデル校で 14 クラス、約 500 人以上が参加しました。

開催日時:平成 23 年 5 月 13 日& 8 月 10 日

参加校:松本市立芝沢小学校、立田川小学校、菅野小学校、開明小学校、鉢盛中学校、開成中学校



アイデア発表する先生方



2. 教材・教育プログラムの開発など(他団体との協働・委託事業)

●神戸商工会議所「KCCI創業塾(第 13 期)～起業家カレッジ」

開催期間:平成 23 年 6 月 18 日(土)～7 月 23 日(土)[全 6 回]

場所:神戸市産業振興センター

神戸商工会議所の創業塾にて「会社を作ろう!」の講座を実施。会社運営に必要な基礎知識を学びながら、グループに分かれて新規ビジネスを提案していきます。

1	6/18(土)13:00-16:30 ○オリエンテーション ○新規開業のための融資制度について ○開講記念講演	4	7/9(土)9:30～16:30 ○マーケティング発想のすすめ ●会社を作ろう!(4)～ビジネスプランのブラッシュアップ～
2	6/25(土)9:30～16:00 ○会社法について ●会社を作ろう!(1)(2)～ビジネスアイデアを具体化する	5	7/16(土)9:30～16:00 ○人を雇用する時の基本ルールについて ○創業者のための 知的財産に関する知識 ●会社を作ろう!(5)～広報資料の作成～
3	7/2(土)9:30～15:00 ○税務・経理面からみた商いの基礎 ●会社を作ろう!(3)～ビジネスプランの立案	6	7/23(土)9:30～17:15 ●会社を作ろう!(5)～企画書のブラッシュアップ&発表会～ ○パネルディスカッション「夢に向かって～先輩に学ぶ～」 ○参加者交流会

●仏教大学四条センター 冬季講座
「あなたの町を元気にする！～身近な問題一緒に考えてみませんか？～」

社会貢献事業に携わりたい方対象に、入門・基礎講座として、市民活動への参加方法、NPO法人などの設立に関わるお話や、社会起業家の実体験や彼らが社会に与える影響などをシリーズで紹介。

2012年1月25日(水) 13:00-14:30 「自然とともに:火のある暮らし」

講師名(肩書) | 松田 直子(株式会社 Hibana 代表取締役)、NPO 薪く炭く KYOTO(しんくたんくきょうと) 世話人

環境保護や燃料問題について森林資源という視点から何ができるかについて、松田氏の事業を通じて紹介いただき、間伐材の需要を増やすことで、放置された森林環境を改善することの意義について学びました。

2012年2月22日(水) 13:00-14:30 「すべての人に働く喜びと生きがい！」

講師名(肩書) | 中崎 ひとみ (社会福祉法人共生シンフォニー 常務理事、がんばカンパニー所長)

小規模作業所の事業改革を推進し、障害者の労働訓練環境を整備してこられたご体験から、障害者雇用の拡大や社会参画、自立支援の現状と課題、そして今後の展望についてお聞かせいただきました。

2012年3月7日(水) 13:00-14:30 「第二の人生:あなたの参加で町を元気に！」

講師名(肩書) | 藤野 正弘 (きょうとNPOセンター 理事)

54歳で会社員を辞め、NPOの世界に入った藤野さん。若い人達と一緒に市民参加の非営利活動を推進しながら、社会起業家の応援、中高年の社会参画や企業のCSR活動の普及など、多岐にわたった活動の紹介と気軽に地域づくりに参加する方法などを教えていただきました。

●平成23年度「きょうと介護・福祉ジョブネット」仕事理解促進事業

次世代の介護・福祉人材の育成を目標に、福祉の仕事への興味・関心を促進するため、小・中学校の「総合的な学習の時間」などを活用し、学校教育の中で福祉の仕事についての理解を深めるモデル事業実施のための関係者の理解促進研修、教材開発や広報案内作成を行いました。(以下広報案内より抜粋)

授業プラン①(10時間モデル)	授業プラン②(20時間モデル)	授業プラン③(30時間モデル)
これからの活動について(1時間)	これからの活動について(1時間)	これからの活動について(1時間)
専門家から学ぶ(1時間)	専門家から学ぶ(1時間)	当事者を知る…疑似体験(2時間)
現状の整理と取材準備(1時間)	現状の整理と取材準備(1時間)	高齢者・障がい者への支援の現状と課題(1時間)
施設訪問と取材(4時間)	施設訪問と取材(4時間)	専門家から学ぶ(1時間)
取材のまとめと分析(2時間)	取材のまとめと職業体験の準備(1時間)	情報の確認と礼状(1時間)
発表と提言(1時間)	職業体験に向けて(1時間)	訪問先の事前調査と訪問依頼(2時間)
	職業体験!(6時間)	施設訪問と取材(4時間)
	学習したことを広めるために(2時間)	取材のまとめと職業体験準備(1時間)
	企画書を形に(2時間)	職業体験に向けて(1時間)
	専門家から学ぶ(1時間)	職業体験!(6時間)
		学習したことを広めるために(2時間)
		企画書を形に(2時間)
		専門家から学ぶ(2時間)
		発表会の企画と準備(1時間)
		発表会の開催(2時間)
		振り返り…よりよい社会づくりに向けて(1時間)





- 実施校：以下3校
 - ・京都市立養正小学校
 - ・京都市立竹の里小学校
 - ・与謝野町立加悦中学校
- 実施時期：2学期
- 実施スケジュール：
 - 4月～：参加団体（学校や社会福祉協議会など）の募集
 - 5月16日：参加希望団体向けの事業説明会の開催
 - 6月末：参加団体の決定
 - 7月12日：参加校合同研修会
 - 7月～8月：実施時期調整と具体的なカリキュラム&受入れ施設調整
 - 7月～8月：地域別事前研修会
 - 8月～9月：カリキュラム決定&校内研究会
 - 9月～12月：授業開始
 - 3月11日：合同発表会

●平成23年度京都市中間支援団体支援事業 「障害福祉分野におけるイノベーション推進プロジェクト」

本事業では以下の内容の業務を企画提案し、事業委託を受けて実施しました。

- ①実務の専門家によるイノベーション推進チームを結成し、支援団体を7ヶ所選定。
- ②選定した7団体に対し、個別事業所ごとに達成目標やロードマップをまとめ、イノベーションプランを策定し、実行する。イノベーション推進チームから助言・指導を受ける場を最低2回設定。
- ③選定された7団体が一定のレベルに達した時点で開発中の仕事受発注サイト「Innovation Studio」のメンバーに認定するとともに、大手通販企業や生活雑貨販売店等での販売の実現を目指す。また、成功事例の広報を行う。

<事業参画団体>

*8団体を採択しましたが、1団体は途中で対象外団体となったため支援を中止しました。

- 社会福祉法人京都身体障害者福祉センター京都市洛南障害者授産所
- 特定非営利活動法人スウィング
- 社会福祉法人新明塾 工房ソラ
- 社会福祉法人てりてりかんぱにい ジョイント・ほっと
- 特定非営利活動法人ともの家
- 社会福祉法人あみの福祉会 だるまハウス
- 社会福祉法人あみの福祉会 四葉ハウス

<事業成果>

本事業では、障害者の所得保障と雇用・就労の問題に、従来の福祉事業所にはなかったイノベティブな課題解決のプロセスを導入して取り組みました。そのなかで、事業所の職員が利用者に「働かせたい」という思いをもって就労支援活動を行っているかどうか、利用者の就労意欲に影響を及ぼしていることに注目し、短期的な売上向上よりも、長期的な就労環境改善につながる職員の意識改革を優先しました。

特に、本事業では、従来からの小規模事業所が抱える以下のような問題点の解決に重点を置きました。

- ・就労訓練の場でなく趣味の場→物づくりのための訓練環境整備
- ・専門分野を絞らない複数の物づくり→分野を特化して技術を上げる

- ・顧客のいない物づくり→一般市場で戦える差別化した物づくり
- ・コスト意識が存在しない→収益を上げる事業
- ・長期計画がなく場当たりの→長期的事業展開のビジョンと具体的実行計画

そして、結果的には、参加団体の全てにおいて本事業に参加することによって職員の意識改革が進んだという回答を得ており、かつ、利用者の就労環境を整備するための3Sの徹底や、ゆきとどいた支援をするための事業整理、顧客ありきの生産活動や付加価値のある事業の推進、人件費もコスト計算したうえでの事業推進、期限や数値目標を設定して短期・中期・長期の事業計画をたてることなど、民間では当たり前のことでありながら福祉事業でされていなかったことへの意識改革が進んだことは大きな成果でした。

また、本事業では、具体的な数値目標として、7ヶ所の事業所に対して以下を実現することを掲げ、ほぼ達成することができました。

- ・長期ビジョンと実現のためのロードマップの作成
- ・職業訓練環境の改善による付加価値製品の新規開発や一日あたりの製造数の増加と品質改善
- ・コスト計算の徹底と収益増加
- ・各事業所が少なくとも1ヶ所の新規顧客(新しい販路)の獲得

しかしながら、障害福祉の分野は法律や補助金などの制度とからみ、簡単には変えられない(と思込んでいる)ことが多く、昔からの「障害者を保護している」的発想を転換し、障害者を施設に取り込むのではなく、働ける人はどんどん企業で働けるように支援する方向への意識&行動展開には、長期的な取り組みが必要です。

●本事業で取り組んだ商品開発事業の一部。

①あみの福祉会 だるまハウスの「生芋こんにやく」



②工房ソラのギャラリーとの連携事業と新商品「ボタン」の展示発表会



ちよこど
小さなアート **ボタン** 店

工房ソラとちよこど工房がコラボレーションして1ヶ月間のショップをオープンします。
毎週ボタンフェアとちよこど工房のボタンなど一品ずつ表情の違うボタンいろいろです。
期間中はカフェイベントに合わせたコーヒー、紅茶とお菓子メニューも。

6月7日(木)-7月7日(土)
11:00-17:00 / 水・金・土・日

ギャラリーju:彩
http://www.ju-sai.com/
京都府東山区船場町291-2F
TEL.075-551-8247

©IF Cafe & Zakka「ソラシ」にて「工房ソラ」の作品も販売しています。

近鉄東山線より徒歩20分(船場駅) / 徒歩15分(船場駅)
近鉄東山線 船場駅より徒歩12分(船場駅) / 徒歩10分(船場駅)
近鉄東山線 船場駅より徒歩10分(船場駅) / 徒歩10分(船場駅)
近鉄東山線 船場駅より徒歩10分(船場駅) / 徒歩10分(船場駅)

※展示は、平成23年度第2期社会福祉推進プロジェクトにてNPO法人アクトレナティブ協会の協力を得て実施しています。

●平成 23 年度京都府職業教育充実事業「府立高校生の体験活動」

昨年に引き続き、当センターで、高校生の体験活動に協力してくれる企業のコーディネイトを行いました。多くの方のご理解とご協力のもとに 4 団体にて14名の高校生が参加することができました。

	受入機関	体験日時	受入タイプ	受入内容
【体験が実現した団体】				
1	佛教大学	7/28 8:50-17:00	ジョブシャドウイング(3名)	教育学部の原教授の研究室において、大学教員の仕事を見学。通信授業の講座に参加、学長に挨拶、大学の会議に参加。教育学部の4回生の学生による校内見学等。
2	株式会社京都放送(KBS 京都)	7/28 13:00-15:00	グループ訪問(4名)	ラジオ編成制作局長のお話を聞いた後、ラジオの生番組の収録に立ち会ったり、テレビ撮影のセットを見学したりして館内視察後、若手アナウンサーのお話を聞いて質疑応答。最期に局長の方からまとめのお話と質疑応答。
3	株式会社堀場製作所	8/8 14:00-17:00	グループ訪問(5名)	会社概要の説明、社内見学(開発現場・製品展示室・生産現場)、若手社員への質問会
4	特定非営利活動法人きょうと NPO センター	8/8・9・10 8:30-15:30	インターンシップ(2名)	窓口にての来所者対応や電話対応、NPO団体「パーキンソン病支援センター」の広報物印刷・発送作業に参加体験、「まちなこ支援事業」のNPO設立相談に参加、ポスター貼りや販売用紙の設置など朝の準備と、ブリーフィング参加、所蔵図書の点検作業
【受入調整をしたが、学校からの生徒派遣希望がなかった団体】				
1	株式会社カスタネット	7/25・26 9:00-16:00	ジョブシャドウイング(2人)	営業担当について顧客訪問する営業に同行する。

【実施風景】



センター長の話(NPOセンター)



会社の概要説明



実際に製品を手にとって(堀場製作所)



テレビスタジオ見学(KBS 京都)



ラジオ収録スタジオにて(KBS 京都)

3. その他

●講演等

- 摂南大学 PBL (Problem Based Learning)型プロジェクト事業報告会にて講演(2012/2/10)
- (特) 京都ほっとはあとセンター主催「ほっとはあと製品応援事業」ワークショップ講師(2011/9/5&14)
- 追手門学院大学経済学科「アントレプレナーシップ教育入門」講義 (2011/7/14)
- 佛教大学教育学部「生徒指導・進路指導の研究」講演(2011/7/7)
- (特) 京都ほっとはあとセンター第六回総会特別講演「障害者の自立とアントレプレナーシップ～就労支援事業にも求められるイノベーション～」(2011/6/3)

●委員等

- 京都府府民力推進委員
- 京都府雇用創出・就業支援計画推進委員

4. その他:支援校の取り組み

バーチャル・カンパニーの参加校が、どんどん地域の人たちとの連携を広げています！

◎前橋国際大学のバーチャル・カンパニー

前橋国際大学のバーチャル・カンパニーとして 2005 年から活動し、現在独立運営している『繭美蚕(まゆみさん)』が農産物のブランド化を進める川場村と旅がらす本舗清月堂(前橋市)と連携し、川場村産コンヒカリ「雪ほたか」を使ったチョコレート菓子「雪ぽんクランチ」を昨年からの販売され、地元で高い評価を得ています。

◎同志社女子大学のバーチャル・カンパニー

同志社女子大学の「e コマース (電子商取引) 研究」で取り組んでいるバーチャル・カンパニー「株式会社 AZ」と「MAMYMAC」が、開発した障害福祉施設の修光学園と連携して開発した京野菜の焼き菓子「京ぼうる」と山芋を使用したマドレーヌ「とろれーぬ」を開発し、大学内での生協で昨年 6 月に販売しました。また、今年、福祉施設に加え、新田辺のキララ商店街と連携した地域活性化プロジェクトにも取り組みました。

■□2011 年度プレスリリース-----

当センターが支援している学校の取り組みが新聞で紹介されました。記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧下さい。<http://www.entreplanet.org/press/index.html>

- ・ 2012 年 4 月 27 日 京都三条ラジオカフェ:「京から Green コミュニケーション！」に GEC2012 国内予選で優勝した洛南高校のチームが出演
- ・ 2012 年 4 月 14 日 京都新聞:高校発ベンチャー!?アイデアコンペ洛南高V遊具で発電
- ・ 2012 年 1 月 12 日 KBS 京都ラジオ :「笑福亭晃瓶のほっかほっかラジオ」嘶の朝ごはん 出演 「あなたの町を元気にする！」(佛教大学四条センター 特別講座)の紹介をしました
- ・ 2011 年 11 月 28 日 京都新聞:若者のアイデア商品に 仮想企業で企画販売 伏見の酒で入浴剤/ハスの実菓子
- ・ 2011 年 11 月 27 日 KBS 京都テレビ :「京プラス」の番組でトレードフェア紹介
- ・ 2011 年 11 月 26 日 京都新聞:おから+野菜のケーキ 障害者事業所と同女大生製作 あす左京のフェアで販売
- ・ 2011 年 11 月 23 日 京都新聞:仮想企業出店 アイデア競う 27 日、左京でフェア
- ・ 2011 年 8 月 11 日 朝日新聞:スイーツ、障害者福祉施設と開発 同志社女子大「e コマース(電子商取引)研究」受講生
- ・ 2011 年 8 月 4 日 京都新聞:伏見工高生・同大生らの日本チーム 宇宙技術 PR で特別賞 欧米・アジア 16 カ国参加 事業アイデアコンペ 「無重力タンク」創造性、高く評価
- ・ 2011 年 5 月 16 日 京都新聞:事業アイデア競う国際大会予選で最優秀賞:被災地の姿見て若者は考えた(プレスリリース資料)